

福祉部・教育部等組織の整備は自治会・町内会組織と連動するためにも大事であり、NPO等も合わせ、これらの人材育成をしつかりと支援してまいります。

**質問** 学校・地域との連携はどう進められているか伺います。

**教育委員長** 学校と地域との連携は、自然体験・社会体験両面で着実に成果をあげています。学校間の交流活動も盛んになり、スポーツ活動指導者の協力もリーダーバンクの整備とともに学校・地域の連携は進んでいます。教育振興運動や健全育成活動の活発化も進めてまいります。

○市は雇用拡大と生活支援などのワンストップサービスを実施すべき



おおいかわ よし たか 及川 善 男

**質問** 水沢職業安定所管内は、依然として厳しい雇用環境です。また、失業期間が長期化し、失業保険の給付期間が終了するなど、生活そのものが深刻になってきている人が増えています。市は雇用拡大と生活支援などのワンストップサービスを実施すべきではありませんか。



奥州市のワンストップサービスの受付

せんか伺います。

**市長** 当市の雇用状況は依然として厳しいので、企業に対し、雇用維持・確保と正規職員の採用拡大を繰り返し要請していきます。ワンストップサービスについては、具体的に検討したいと思えます。

**質問** 市は正職員を減らし臨時職員を増やしていますが、市の臨時職員の収入は、年収に換算すると162万円です。年収200万円以下と称されるワーキングプアの状態でないですか伺います。

**市長** 非正規職員が増えるのは適当でないと思っています。ワーキングプアというようなのは改善をしていく必要があると思っております。

**質問** 9000億円とも言われる

利益をため込みながら、労働者を物のように使い捨てにする富士通のやり方に、市長自身が憤りを持って、無謀な解雇はやめると要求し、離職者には富士通が責任を持って、現況の生活補償ができる再就職先を斡旋するように要求すべきではありませんか伺います。

**市長** 個々の従業員の生活基盤や希望に即した対応が必要だと思いますので、ご提言の趣旨を踏まえて取り組んでいきたいと思えます。

○東京事務所について  
地方分権時代の首長と  
議会のあり方について



くにお 邦 夫 藤 佐 とう さ

**質問** 東京事務所には、都市部と奥州市の人・物・金の三資源の交流を促進するため、コーディネーター役を期待しています。在京ぶるさと会、大学生（奥州市出身）を中心にインターネットを活用して取り組んだり、奥州市の宣伝に三偉人の活用、例えば東京事務所に肖像画を大きく飾ったり、NHK大河ドラマに取り上げてもらう等、また世界に視点をのびた街づくりが観光・教育・産業の全てに

において必要となるので海外との接点も推し進めることが求められるか伺います。

**市長** 東京事務所入口に三偉人の絵を飾った方がインパクトがあると思います。また、ドラマ化も良いアイデアなのでロケ対策室と連携を取りながら進めます。また、インターネット接続も検討に値するので進めたいと思えます。

**質問** 地方分権により国が指揮・命令、監督をする下部組織から県・市町村の長・議会は自治体の政治、行政の責任者として自己責任を持たなければならなくなりまして。つまり法務・財務の責任が大きくなりましたが市長はどう考えるか伺います。

**市長** 地方分権時代二元代表制度の中、首長と議会は車の両輪として、今まで以上に仕事の量・質とも多くなり重要になってくると思えます。

**質問** 議員の仕事は大変重要な仕事であり、民主主義の最後の砦と言われるやりのある仕事にもかかわらず、来年の議員選挙に手をあげる若い人が少ないのは議員報酬では食べていけないというの理由の1つではないか伺います。

**市長** 報酬を上げるには市民の理解も必要だと思います。